

2025 年 8 月 31 日（日）第二礼拝「みことばを口ずさむ祝福」ヨシュア 1 章 8～9 節

みことばを声を出してくり返し口ずさみ、覚え、その意味を心に刻むことをヘブル語で「ハカタ」と言います。私たちがみことばを口ずさむ時、祝福があります。

第一番目、未来に対する祝福です。申命記 31 章で、モーセが約束の地、カナンに入れないと主から言われた時、ヨシュアは非常に恐れました。そこで、主はヨシュアに「強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」と言われました。モーセが亡くなった時も、ヨシュアは非常に恐れました。その時、主は「この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。…そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。」と語られました(ヨシュア 1:8～9)。私たちが御言葉を口ずさむならば、私たちは繁栄し、約束の地を所有することができます。なぜなら、「あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」と約束されているからです。これが勝利の秘訣です。世界経済、自然災害、病気、職場の問題など、私たちは常に未来に対する恐れに囲まれています。主は私たちを見放さず、いつも共におられます。主は私たちの羊飼いとなって導いてくださるので、私たちは乏しいことがなく、恐れる必要はないのです。

第二番目、過去の傷です。過去の傷があると、急に鬱になったり、怒りや劣等感に悩まされます。しかし、愛と赦しの過程で過去の傷から自由になり、癒しを受け取ることができます。過去の傷は私たちの記憶の中にありますが、その過去の記憶に大きな比重があるなら、現在も未来も傷を受けてしまい、傷だらけになってしまいます。過去の傷に捕らわれず、現在や未来に比重を置くために、良き友であるイエス様に自分の痛みを告白しましょう。イエス様は私たちの傷を完全に癒し、全てを益としてくださいます。私たちは自分を傷つけた人や、その時の不遇な境遇を赦し、勝利することができます。良い思い出も、辛い思い出も潜在意識にファイリングされています。その過去の傷のファイルを削除し（思い出さず）、神様がどれほど私たちに良くしてくださったかを思い出すことが大切です。そうするなら、この地において御国に生きる者となり、平安と喜びで満たされます。

第三番目、聞くことに注意しましょう。会堂管理者が娘の死んだことを聞いた時、恐れに捕らわれました。イエス様は彼に「恐れなくて、ただ信じなさい。」と言われ、その娘はイエス様によって息を吹き返しました。間違っただことばや否定的なことばではなく、いのちのことば、イエス様のことばを聞くことが大切です。「…信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」(ローマ 10:17) 信仰とは、望んでいる事柄の保証です。十二年長血を患っていた女性が、イエス様の衣に触れば「きっと治る」と信じ、その通りに癒されました。私たちの言語中枢神経は体の各器官を支配します。ですから、御言葉を口ずさみ、それを心で思い描いて信じる時、その通りになるのです。アーメン！